

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2015-523882(P2015-523882A)

【公表日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2015-052

【出願番号】特願2015-515627(P2015-515627)

【国際特許分類】

A 6 1 M 21/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 21/02 J

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月1日(2016.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

部屋の中にアンビエントヒーリング環境を生成するためのシステムであって、  
香りの連続バッチを患者に供給する一次香り供給機構と、  
動作中に一次時系列に従って前記香りの連続バッチを断続的に供給するように前記一次  
香り供給機構を制御するコントローラと、

医療処置を実行するための前記部屋の中の香りの量を示す測定信号を生成するためのセンサとを有し、

前記コントローラが前記測定信号に応じて前記香りの連続バッチ間の期間又は前記香りの連続バッチのサイズを適応させる、システム。

【請求項2】

前記コントローラが、医療処置を実行するための前記部屋に前記患者が入室したことを検出するのに応じて前記一次時系列を開始する、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記コントローラが、医療処置を実行するための前記部屋を前記患者が退室したことを検出するのに応じて前記一次時系列を終了する、請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

前記コントローラが、医療処置を実行するための前記部屋を前記患者が退室したことを検出するのに応じて、当該部屋から香りの抽出を開始する、請求項1に記載のシステム。

【請求項5】

前記香りを選択するためのユーザインターフェースをさらに有する、請求項1に記載のシステム。

【請求項6】

前記一次香り供給機構を組み込む、医療処置の実行中に前記患者によって装着されるヘッドセットをさらに有する、請求項1に記載のシステム。

【請求項7】

前記ヘッドセットが香りを抽出する香り抽出機構をさらに有し、前記コントローラが抽出時系列に従って香りの抽出を制御する、請求項6に記載のシステム。

【請求項8】

前記ヘッドセットが前記一次香り供給機構と前記香り抽出機構を、前記ヘッドセットが

前記患者によって装着されているときにこれらが相互に前記患者の鼻器官の両側にあるように組み込む、請求項6に記載のシステム。

【請求項 9】

前記一次香り供給機構を組み込む、医療処置の実行中に前記患者の鼻器官の近くで患者テーブルに取り付けられるテーブルトップをさらに有する、請求項1に記載のシステム。

【請求項 10】

前記テーブルトップが香りを抽出する香り抽出機構をさらに有し、前記コントローラが抽出時系列に従って香りの抽出を制御する、請求項9に記載のシステム。

【請求項 11】

前記テーブルトップが前記一次香り供給機構と前記香り抽出機構を、前記テーブルトップが前記患者テーブルに取り付けられるときにこれらが相互に前記患者の鼻器官の両側にあるように組み込む、請求項9に記載のシステム。

【請求項 12】

患者に香りのバッチを供給する、前記一次香り供給機構から離れた二次香り供給機構をさらに有し、前記コントローラが、動作中に二次時系列に従って前記香りのバッチを供給するように前記二次香り供給機構を制御する、請求項1に記載のシステム。

【請求項 13】

前記コントローラが、医療処置を実行するための前記部屋に前記患者が入室したことを検出するのに応じて前記二次時系列を開始する、請求項12に記載のシステム。